

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 橋本正巳
 新潟県山岳協会
 上越市南城町2-3-37
 TEL 025-524-7215

事務局 稲田春男
 上越市柿崎区百木1023
 TEL 0255-36-3958

編集 新山協ニュース編集
 委員会代表 諏訪恵一
 TEL 0258-35-4373

中国青海省・ガンシカ峰登頂

高田ハイキングクラブ

後藤正弘

新潟県山岳協会隊が二〇〇

二年に挑戦したが、無念にも
 登頂を果たせなかった。この
 因縁の山、中国青海省・ガン
 シカ峰（五、二五四メートル）
 長野の仲間とともに幸運にも
 初登頂に成功することができ
 た。

参加した登山隊は、なんと
 平均年齢五十五歳の「長野県
 ガンシカ峰登山・トレッキング
 グ二〇〇四」の中高年登山隊。
 登山期間は二〇〇四年九月二
 十六日～十月十日、総勢二十
 七名が未知の山に挑んだ。し
 かし、登頂できたのは四名、
 第二次、第三次アタック隊は
 天候の悪化で退却。

新潟を代表して登頂者の一
 人になれたことに感謝したい。
 また、新潟県山岳協会のご支
 援にこの場を借りて心からお
 礼申し上げます。以下、アタッ
 クを中心に報告する。

祝福の握手に胸熱く

十月二日（晴れ）、第1次
 アタック隊はBを九時四十
 分出發、ガンシカ峰西壁手前

のヒドクレパス危険地帯に

フィックス作業を行なう。広
 い雪原に所々クレパスが見ら
 れ、先行した田中登攀隊長を
 確保しながら、五十メートル
 ×五本のフィックスロープを
 張りカントテ基部へ到達した。
 午後四時五十分を終了し、午
 後五時二十五分C1（四、六
 三〇メートル）へ戻った。
 広いテントに四名、快適な
 居住性。夕食は「チキンラー



ガンシカ峰に登頂した、左から清野秋雄、後藤正弘、
 村山清茂各隊員。撮影者は田中基喜隊員。

メン」とカレー。毎日中華料
 理を食べていたので、このメ
 ニューは美味しかった。皆で
 C1建設の仲間に感謝。「明
 日は、フィックス作業をして
 四日に登頂しよう。でも、時
 間が早かったら山頂をめざそ
 う」と確認して眠りについた。

十月三日（快晴）明け方、
 「だれかが、私の空気を吸い
 込んでいる…」おかしな夢を
 見て目がさめた。息苦しさ
 後頭部の鈍痛、全身に酸素欠
 乏による不快感。いよいよ高
 山病がやってきた。落ち着い
 て、腹式呼吸を始めた。口か
 ら胸にある息を全部吐きだす、
 すると自然に鼻から空気が吸
 い込まれ、全身に酸素が満ち
 ていく感じがする。どれだけ
 続けたらだろうか。不快感は消
 えて、全身に力が湧いてきた。
 もう大丈夫だ。

午前七時四〇分C1出發、
 ガンシカ峰に太陽が遮られ寒
 い朝だ。比較的安全と思われ
 る雪原のフィックスロープ三
 本を回収し、雪壁に使用する
 ことにする。午前八時四十五
 分、それぞれ腰にロープを下
 げ、田中、村山、後藤、清野
 のオーダーで高みヘルトを
 拓く。

登山計画書を出しましょう

▶山頂で登頂を喜び

後藤正弘隊長



アイゼンを軋ませて五十メートル登り、スノーバーをセットすると次に交替してまた登る。五、〇四〇メートルの少し緩い斜面はフィックスをカットして、五、一〇〇メートルより再び開始する。午前十一時三十分、いつしか山頂のアタックへ目的は変わっていた。後藤、清野の二ピッチでロープを使いいきり、田中登攀隊長が先頭でいる。真っ青な空と白い頂の境界



西壁をダイレクトに登る。4ピッチ目の登攀 (標高5,000m付近)

線をめざして、ひたすら雪壁を登りつづけた。初めての高山登山、酸素が少ないことを身体で感じ、高みへとステップを刻んだ。胸が苦しい、二十歩ほど登っては呼吸を整える。落ち着くのを待ってまた登りだす、単調な動きの繰り返し。山頂はあの見えるラインなのか、それともその先なのだろうか。

先頭の田中登攀隊長の足がスカイラインの上で止まった。次々にメンバーがそのラインに到着する。急な雪壁を登りきったところが山頂だった。狭く斜度があり、大きく深呼吸しながら周りを見渡すと、赤茶色の地肌と白く化粧した

四千mクラスの山並みが連なっている。そして、ベースキャンプのある谷も、周囲の山々も、ずいぶん小さく見える。甘粛省側は鋭く切れ落ち、雪庇が張り出している。日本の山にはないスケールの大きさを感ずる。呆気ない気持ちと、安堵感が交錯する。

十月三日十二時三十分、快晴、無風の好条件に恵まれ、第一次アタック隊四名は、目標のガンシカ峰(五、二五四メートル)に立った。

山頂に日の丸を掲げ、オンベを立て、記念写真を撮る。無線でそれぞれの喜びをBCの仲間へ伝える。総隊長の激励に登頂を実感する。

十二時五十分下山開始。C1を経てBCへ着いたのは午後五時。次々に迎えてくれる仲間たちの「おめでとう!」と笑顔の握手に、胸に熱いものが込み上げ、涙をこらえるのがやっとだった。登山隊・トレッキング隊の仲間と中国・青海省登山協会の支援に支えられた登頂に感謝、感謝。

このあと飲んだビールと「チイ・ヤンロー」の味は忘れられない。

加盟団体動向

加盟団体の連絡先が変更になりましたので、お知らせいたします。

- 小須戸山岳会 〒956-1010 中蒲原郡小須戸町本町4
- 中村茶店方
- 加茂山岳会 〒959-1385 加茂市大郷町2-2-11 橋本繁雄方
- 新潟大学学友会 ワンダーフォーゲル部 〒950-1218 新潟市五十嵐2の町8050

海外・国内旅行、主催・手配



ユニオン航空サービス

日本交通大旅行業協会加盟第050号・IATA代理店 (注) 日本旅行業協会会員

本社：新潟県長岡市東町1丁目3番5号 <http://www.uks.co.jp>

- 長岡営業所 〒940-0084 長岡市東町1丁目3番5号 ☎ (0258)33-7123
- 新潟営業所 〒950-0910 新潟市米山3丁目2番11号 ☎ (025)246-2266

登山・アウトドアの専門店



新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025)243-6330(代)

登山・ハイキング・クライミング
テレマーク&山スキー



パーマーク

長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200・FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>